

逗子駅にて街頭行動『ピースウィーク』核兵器廃絶を訴える!

～逗子市桐ヶ谷市長、高野・服部市議会議員、中村葉山町議会議員を含む27名で実施～



三浦半島地域連合は地域に『顔の見える活動』として、毎月街頭活動を行っています。

今回は8月2日(水)18時から逗子駅にて、『連合神奈川ピースウィーク』として、逗子市桐ヶ谷市長、高野・服部市議会議員、中村葉山町議会議員を含む27名で行いました。

ロシアのウクライナ侵攻をはじめとして世界では平和が脅かされるような出来事が頻発しています。

来たる8月6日、9日は広島市及び長崎市に原爆が投下されて78年目の「原爆の日」にあたります。この「原爆の日」に先立ち、2日に核兵器廃絶や戦争反対・恒久平和を逗子市民に訴えかけました。

約1時間で、ピースウィークチラシが入ったティッシュ2,000セットの配付を終了しました。



原爆死没者のご冥福と、核兵器の廃絶並びに世界の恒久平和の実現を祈念する絶好の機会となりました。今後も連合方針に沿い、恒久平和の実現に向けて活動していきます。

